

飯田祥光風 子供の風景



賞状書き



皆さんも頑張って
挑戦しよう

第四十八回全国空手道大会で 下記新聞の通り賞状の揮毫(名前書き)をしてもらいました
藤本紋ちゃん、萩谷麻衣ちゃん、山口太一君に依頼すると「書かせてください」とか「
書きたい」とかの応えがありました又 痛感した事は子供達の姿勢は前向きであることを
確信し 沢山の書く場所を与えてあげなければとそして子供達の気持ちを大切に成長を
見守って育て行きたい思っています 「筆をもてば何かの始まりがある事」をみつけれ
ほしいです



熊町の県営
サンアリー
ナで開幕し
た写真。
全国十ブ
ロックの地
区大会を勝
ち抜いた約
五千人の選
手が三十一
日まで、熱戦を繰り広げ
る。

エイト突き、けり
伊勢で小中学生
全国空手道選手権
大会は形と組手の二部
門で団体、個人戦があ
り、学年や男女別に分か
れて、トーナメント形式
で争う。初日は団体戦が
あり、県本部が形の小学
生低学年で二位、中学生
で三位に入った。
選手たちは「エイト」
と気合の入った声を上げ
ながら、突きやけりを繰
り出していた。

中日新聞掲載より 2005/7/31



全国大会での 賞状の揮毫 場面

「豆拳士」の空手技に会場わく

伊勢で小中学生全国選手権

小中学生が空手道の
日本一を目指す、第四
十八回小中学生全国空手道選手権大会(日本空手協会主催・産経新聞社な
ど後援)が三十、三十一の両日の日程で、伊勢市朝熊町の県営サンアリー
ナを会場に始まった。全国から集まった、「豆拳士」の華麗な技が決まる
たび、観客で埋まった会場がわいた。

名産品コーナーもにぎわう



物を楽しみ親子連れであ
ふれた。

入賞者に手渡す賞状書
きは、伊勢市内に住む萩
谷麻衣さん(四)倉田山
中三年と、山口太一君
(一)五十鈴中二年ら
が担当。書道歴七年とい
う山口君は「僕たちが一
生懸命書いた賞状を持
帰れるように、選手のみ
んなには頑張ってほしい
です」と話し、同年代の
選手たちにエールを送っ
た。

観客や選手でにぎ
わつ会場内のお土
産コーナー